

## 社会見学（1年生）

5月18日（木）、1年生は下関市長府へ社会見学に行きました。「学楽両道」というスローガンのもと、午前中は城下町長府を班別研修、午後からは下関市立美術館で美術鑑賞を行いました。

城下町長府の班別研修では、班で計画したルートに沿って、功山寺や長府毛利邸など、山口県が誇る幕末の志士たち縁の名所を実際に目の当たりにして、感動している様子が見られました。午後からは、下関市立美術館で学芸員の方から鑑賞の仕方をレクチャーしていただき、たくさんの素晴らしい芸術作品に触れることができました。

天気が悪かったので、楽しみにしていたスケッチ活動ができず、弁当もバスの中で食べることになりました。残念でしたが、交通ルールや観光マナー、学習上の決まりに従って、その中で精一杯楽しみ、活動する姿が印象的でした。まさに「学楽両道」のスローガン通り、充実した社会見学となりました。また、班の仲間と協力して行動することや、実行委員や係活動など、一人一役、自分の役割を誠実に果たそうとする様子も見られ、生徒にとって大きな学びの場となりました。これからの学校生活に生かし、大きく成長して行ってほしいと願っています。



## 地域学習（2年生）

5月18日（木）、2年生104名が「坐禅体験（宗隣寺）」と「桃山の歴史・文化に関する講話（本校体育館）」の二部構成で、地域学習に取り組みました。

坐禅では、正しい姿勢と呼吸法で正しい心の置き所を探す場であるということをお聞き、時折、警策（きょうさく）の“パシッ”という音が鳴り響く中、真剣に取り組んでいました。生徒には、日常的に「中学2年生は“立志”のとき、人生を左右する上でとても重要な一年間」と説明しています。大人への第一歩を切り拓くときに、この坐禅体験で感じ取った何かを、大いに生かしてほしいと願っています。



講話では、「渡邊祐策翁にまつわる秘話」や「桃山の地名の由来」など、普段の授業では知ることのできない情報を教えていただき、たいへん興味深い内容に生徒は傾きながらメモを取っていました。

午後は、これら2つの内容について、感想文やレポートにまとめ、たいへん有意義な1日にすることができました。

## 修学旅行（3年生）

5月18日（木）～20日（土）、3年生は、熊本・長崎方面へ修学旅行に行きました。

熊本城では、元の姿に修復するまであと30年もかかるという説明に、昔の人がどれだけの歳月と労力をかけて築いたのか、それを一瞬で破壊してしまう天災の脅威などを痛感しました。草千里ヶ浜は、暴風雨のため、残念ながら散策をすることはできませんでしたが、阿蘇の外輪山や草原の緑の美しさ、自然の雄大さを目の当たりにして、生徒達は歓声をあげ、詩「大阿蘇」の情景を体感していました。

長崎原爆資料館では、原爆による被害の甚大さ、むごさを数々の資料が生々しく物語り、生徒達は、神妙な面持ちで、平和とは何か、未来の自分達はどうかあるべきか、真剣に考えようとしていました。

長崎市内とハウステンボスの班別研修では、事前学習から当日までを通して、仲間と協力することの大切さ、集団行動をとるうえで必要なこと等を学ぶことができました。

スローガン「心に刻もう 歴史と文化・仲間との思い出」参加できたことへの感謝の気持ちを忘れず、2泊3日で学んだ数々を深く心に刻み、今後生かして行ってほしいと願っています。

